



広島県公立大学法人

# 叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

<https://www.eikei.ac.jp/>  
TEL:082-225-6201(代表)  
E-mail:publicrelations@eikei.ac.jp  
〒730-0016 広島市中区鞆町1-5



広島県公立大学法人

# 叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

## ■ 空路

東京	羽田空港から	約1時間20分	広島空港	リムジンバス	約50分	JR広島駅	徒歩	約10分	叡啓大学
	成田空港から	約1時間40分							

## ■ 陸路(新幹線)

東京	JR東京駅から	約3時間45分	JR広島駅	徒歩	約10分	叡啓大学
大阪	JR新大阪駅から	約1時間20分				
福岡	JR博多駅から	約1時間				



# 2025

ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科

# 挑戦したくなる毎日が 叡啓にはある

先行き不透明なこの時代、  
解のない課題にチャレンジし、  
粘り強く新しい時代を切り開いていく人材が求められています。

いろんな価値観や多様な文化に触れる毎日は、  
あなたの感性に変化を起こし、成長へと導いてくれます。  
修得した知識やスキルを社会で実践する毎日は、  
あなたの知的探究心を刺激し、自信へと繋げてくれます。

望ましい未来を創る夢への挑戦。  
ワクワクする毎日を、共に、描き創りませんか。

## 学長メッセージ

国際情勢は混迷の度を深め、先行きの不透明感が増す中で先進国経済は製造業に代表される有形資産経済からいわゆるプラットフォームに代表される無形資産経済へと重心を移しています。この様な中で科学技術の進歩は益々加速されているように見え、現在ある仕事の多くがコンピュータやロボットに置き換わるということの現実感が増しています。日本の現状を見ると2018年に予測した2040年の18歳人口が88万人だったのに対して実際の出生数による確定値は80万人を切ってしまいました。一方で2022年のOECD生徒の学習到達度調査(PISA)の結果を見ると日本の15歳の子供達の成績は世界のトップクラスになっています。少子化が進む中でも日本の若者たちは世界の若者と比較して高いポテンシャルを持っているのです。グローバルな環境の中で若者達の高いポテンシャルを大きく伸ばし、急速に変化する社会に流されるのではなく、望ましい社会の夢を描きそれを実現していく力、コンピテンシーを身につけてもらうことが私達の使命だと思っています。叡啓大学は社会を前向きに変えるチェンジメーカーを育成する22世紀型大学です。皆さんがコンピテンシーを身につけ新たな社会を牽引することを夢見ています。



学長 有信 睦弘 ARINOBU Mutsuhiro

【経歴】1976年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了(工学博士)。東京芝浦電気株式会社(現・株式会社東芝)研究開発センター所長、執行役常務などを経て、2009年に横浜国立大学理事、10年に東京大学監事、14年に理化学研究所理事。18年4月から東京大学執行役・副学長(2021年3月まで)。文部科学省中央教育審議会委員、同大学院部会部会長、同大学分科会将来構想部会委員を歴任、日本技術者教育認定機構(JABEE)顧問などを務める。



5つのコンピテンシーについて、詳しくはこちらから >>>

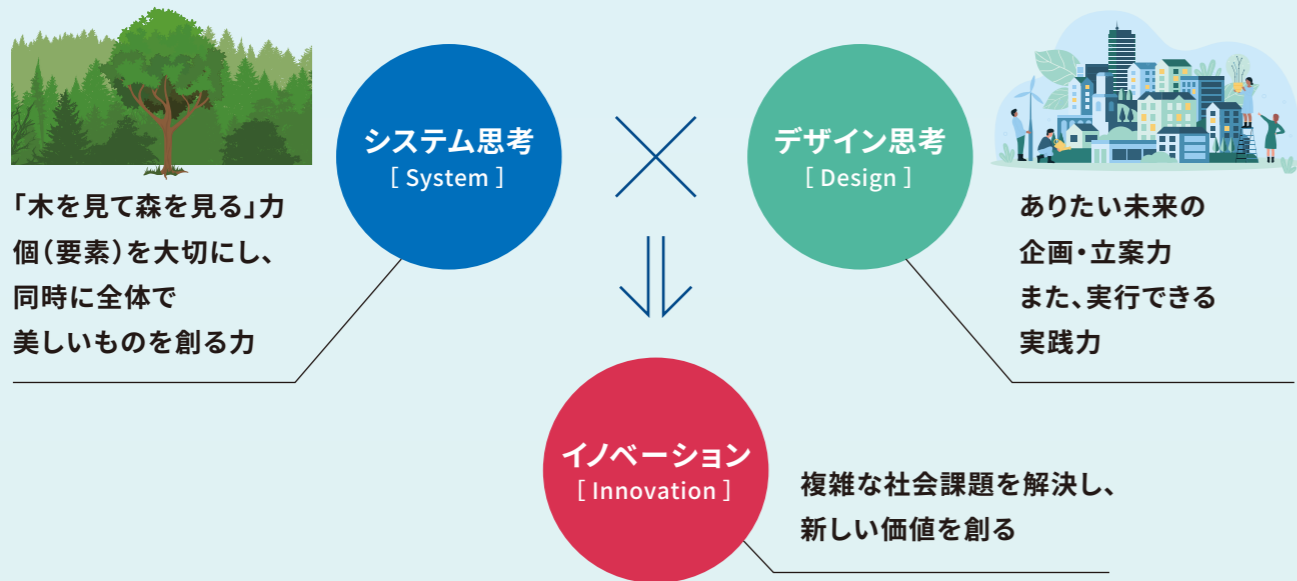


# 社会の課題を発見し、新たな価値をデザインする。

ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科

## Social System Design

社会で問いを設定し、解答を自ら探究するための方法論



### 学部の概要

「自らが将来のありたい社会を創ること」、そのために、「自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮し、実行することを通じて、新たな社会価値を生み出すこと」を理念としています。実践英語によるグローバルコミュニケーション能力とデジタルスキル、論理的思考力、デザイン思考・システム思考の方法論を身につけます。文理を超越したリベラルアーツ科目の履修と、実社会の課題解決に取り組む課題解決演習(PBL)、ボランティアやインターンシップなど海外を含む「体験・実践プログラム」を通じた実践的な教育を経験します。それらを通じて、自ら解決すべき課題を設定し、解決策の提案を行う「卒業プロジェクト」において知識・能力の統合を図ります。

### 日本初の「人と社会を前向きに変えるリーダー(チェンジ・リーダー)」を育てる22世紀型大学です。

いまある職業と学問が半分消えていく時代に、学びが「できる」ではなく、学びが「創れる」人、仕事「できる」ではなく、仕事「創れる」人が求められています。本学はその声に、ソーシャルシステムデザインの学修と実践による人財育成で応えます。ソーシャルシステムデザインは、複雑で「正解」のない社会課題に対して、問いを設定し(クリティカル思考)、解答を自ら探究するための方法論です。地球善・世界善の幸せ(ウェルビーイング)のために、「鳥の目・虫の目」(システム思考)をもち、知の統合による斬新な変革のための企画・立案・実行(デザイン思考)を、地域からグローバルまでを場に、生涯やり抜く力(生涯探究する力)を涵養します。「いまある社会を知る」よりも「これから社会を前向きに変える」ソーシャル・アントレプレナーシップ(社会起業家精神)を身につけたい。そんな熱い想いをもつ人に応える学部です。ぜひいらしてください。

[経歴] 1985年東京大学卒、財務省および金融庁等の主要ポストやパリ、インド並びにワシントンDCの国際機関や在外公館等に勤務したのち、地域経済活性化支援機構常務取締役、国際開発金融機関IDBの日本ほか5か国代表理事等を歴任。慶應義塾大学大学院SDM 特別招聘教授等を2008年から兼務。米国PMI認定PMP、日本創造学会評議員、地域活性化学会副会長、ウェルビーイング学会監事。



学部長  
保井 俊之  
YASUI Toshiyuki

## カリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)

「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)で定められたコンピテンシー(資質・能力)が身につくよう、「リベラルアーツ科目」や「基本ツール科目」、「実践英語」による知識・スキルの「修得」と、「課題解決演習」や「体験・実践プログラム」による「実践」を往復したうえで、「卒業プロジェクト」に取り組みます。自分の課題意識や学修状況に応じた履修を重ねることで、コンピテンシーの獲得と学位の取得を目指します。

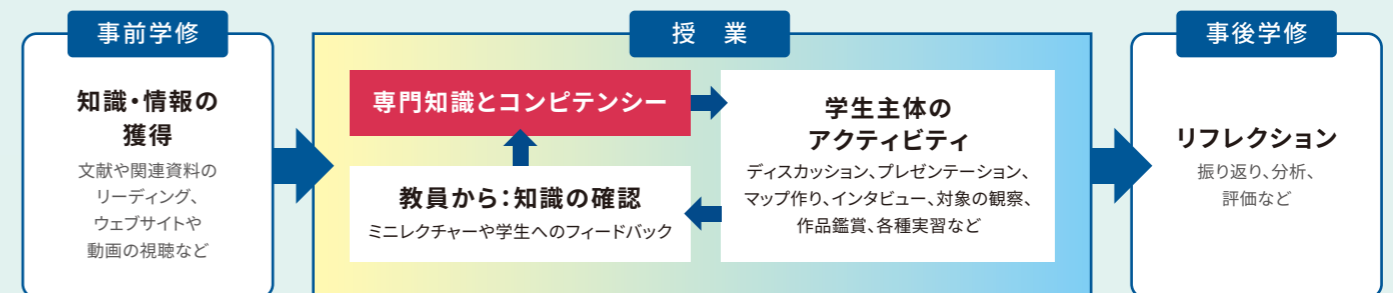
■「修得と実践のサイクル(学びのスパイラル)」を軸とした独自の教育システム



カリキュラム・ポリシーについて、詳しくはこちらから >>>



## アクティブ・ラーニング すべての科目と授業で学生参加を促す授業スタイル



1クラス25人の少人数教育

学生一人ひとりにより応じた指導を行うため、原則として1クラス25人程度で授業を実施します。  
※英語集中プログラムは1クラス16人程度です。

主体的に学べる100分授業

教員による一方的な講義は最大で20%程度を目安とします。学生同士の対話やグループディスカッション、質疑応答の時間を多く確保します。

2コマ連続授業だから集中して取り組める

1コマ100分の授業を2コマ連続で行うことで、同時に並行して履修する科目が少なくなり、ひとつの授業に集中して取り組むことができます。

アクティブ・ラーニングについて、詳しくはこちらから >>>



# 国際教養力

グローバル社会の中で活躍できる  
教養力を身につける



## A STUDENT'S VOICE

### 分野の域を超えて養う 社会を生き抜く思考力

ソーシャルシステムデザイン学科 3年  
中 晴輝 NAKA Haruki  
大阪府(大阪高等学校)出身

目まぐるしく変化する社会で生きていくためには、解のない問題に取り組む力が必要です。叡啓大学には思考系の科目があり、ロジカルシンキングやデザイン思考・システム思考は、物事に対して多角的に深く考えられる、まさに課題解決の基礎となります。特に印象的だった都市環境論では、授業内で実際にゴミ処理場や埋立地へ足を運ぶこともあり、自分たちの生活がどのようにして成り立っているかを学修しました。持続可能な生活や、SDGsの目標でもある「住み続けられるまちづくり」への関心を高めつつ、今後もリベラルアーツで得た横断的かつ能動的な学びで将来を模索したいと考えています。



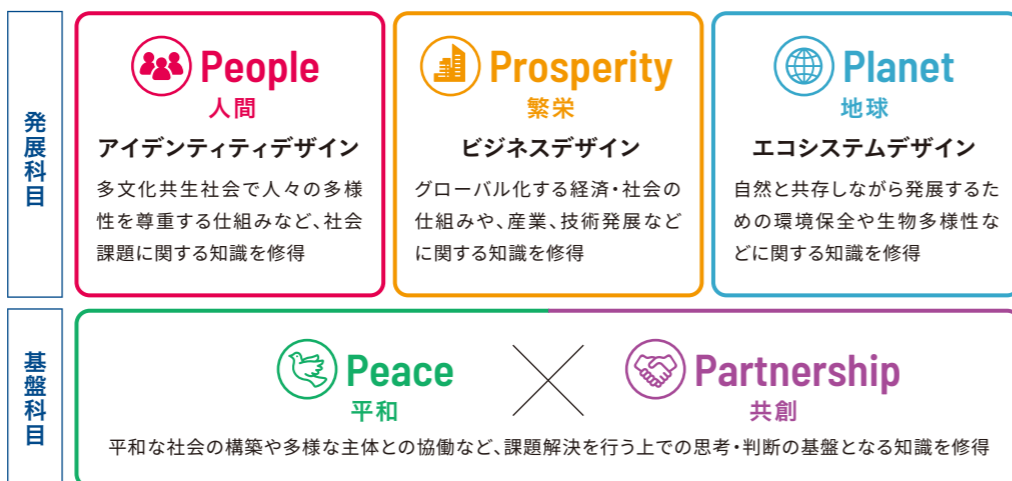
## SDGsを意識したリベラルアーツ(一般教養科目)

SDGs(Sustainable Development Goals)は国連総会で2015年に採択された、持続可能な開発のための国際目標です。本学は実社会における課題に対して、持続可能な世界の実現に貢献することを念頭に、SDGsの17のゴールの方向を見据えながら、統合的な解決策の立案に寄与する人材の育成を目指します。社会課題を見る際は、SDGsの17のゴールを国連が分類した5つのP(Peace 平和、Partnership 共創、People 人間、Prosperity 繁栄、Planet 地球)を軸として設定し、様々な学問分野を横断的に学修します。



### 学びの軸とする5つのP

Peace(平和)とPartnership(共創)は、SDGsの17すべてのゴールに共通する方法論と位置づけ、学生全員が「基盤科目」として履修します。2年次からPeople(人間)、Prosperity(繁栄)、Planet(地球)をより具体的な課題領域「発展科目」として学びます。「発展科目」では、3つのPのうち自ら選んだ1つを中心に学びながら、興味関心に応じて他の領域の科目を履修することもできます。



### 文理を越え課題解決の基盤となる知識を修得



具体的な科目、カリキュラムはP11-12でCheck!

リベラルアーツについて、詳しくはこちらから >>>

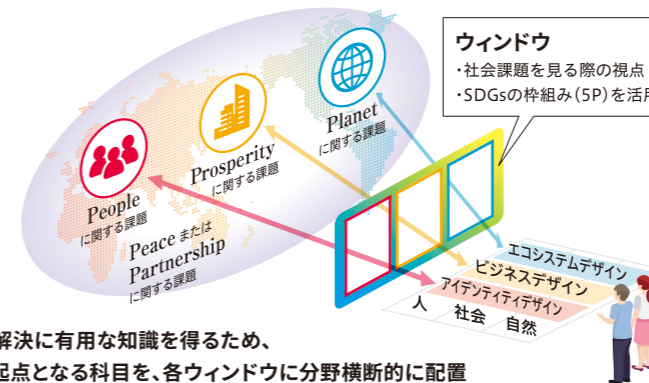


## ウィンドウの設定による学修

SDGsの17のゴールは、実社会における課題に対して、国際社会全体の持続可能な開発目標として設定されています。このことを念頭に置きながら、複眼的かつ多角的で、グローバルな視点から将来を見通すことができる力を養います。各自の興味関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択します。各ウィンドウのテーマに有用な知識が修得できるよう、カリキュラムが構成されています。

### 「ウィンドウ」のイメージ

ソーシャルシステムデザイン → 自ら創る「ありたい社会像」



## ICT・データサイエンス

ICTやプログラミングの基礎や活用方法(デジタルリテラシー)などを理解し、課題解決や事業立案などのツールとして活用します。また、データを収集・分析して判断材料とする手法を修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性の育成を図ります。ICTを活用する際に重要な情報倫理の学修機会も設けています。



[例] Webサイトやアプリの作成技法、分析結果を効果的に活用するための技法、IoTやAI、データサイエンスを活用する手法など

## 思考系

課題解決に必要な、基本的な思考のスキルである論理的思考力を養います。実社会における課題解決プロセスで必要となる、プロジェクトを進める手法や他者と協働して議論を促進し合意形成を図る方法などのスキルを修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性を育成します。



[例] ロジカルシンキング、デザイン思考・システム思考、プロジェクトマネジメント、ファシリテーションなど

デジタルスキルや思考力の向上について、詳しくはこちらから >>>



# 実践力

社会を変える  
実践力を身につける



## A STUDENT'S VOICE

### 時代の変化に対応できる 課題解決のスキルを習得

ソーシャルシステムデザイン学科 4年  
清水 渚 SHIMIZU Nagisa  
広島県(武田高等学校)出身

PBLの授業では、根本的な課題・レバレッジポイントを特定する作業が最も重要な工程だと学びました。また、解決策を提案するためには、様々な要因をカテゴリー分けし、深掘りしながら課題との関連性を見極める必要があります。この作業を繰り返し行い、スキルとして身に付けることは社会に出た際の大きな武器に。現在、全く違う産業分野に参入するなど、新規事業に取り組む企業が増えています。市場を獲得するための競合環境の変化や、何が起きるか分からない時代だからこそ、PBLで学んだ将来への見通しと、世の中の課題を俯瞰して解決するスキルが生きてくると考えています。



## 実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習(PBL)

企業や自治体が実際に直面しているリアルな課題に対して、学生は4名程度のチームを組み、事前学修やグループワーク、現地調査等を通じて本質的な課題を発見し、解決策を検討するプロセスを経験する演習です。1年次、入学してすぐに「ソーシャルシステムデザイン入門」および「課題解決入門」を必修で履修し、自分に足りない知識やスキルを自覚します。2・3年次では、企業などから提供された課題の原因を追究し、解決策の提案までを行う演習に複数回取り組み、課題発見・解決力や他者と協働する力、やり抜く力などを養います。

### 課題解決演習(PBL)の流れ



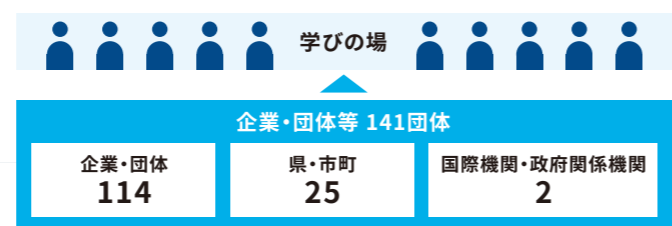
### 課題解決演習(PBL)の事例

事業タイプ	課題タイトル
民間企業(食品)	サラダの世界を広げることで野菜摂取を増進する
民間企業(精密機器)	高齢者のフレイル(虚弱 Frailty) 進行を予防するお手伝い
民間企業(地域活性)	地域資源のレモンを育て続ける
民間企業(IT)	The active participation of highly skilled foreign professionals has yet to progress in small and medium-sized enterprises in Hiroshima Prefecture.
公益財団法人	全理事の30%が女性理事となるよう取り組む

## 社会全体が実践的なキャンパス 企業・自治体などの課題から学ぶ

実社会で生じている課題を教育に積極的に取り入れていくことができるよう、企業やNPO、国際機関、地方公共団体など様々な主体と連携するプラットフォーム(叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会)を本学は構築しています。企業や自治体の課題が演習テーマとして設定され、学生は解決へのプロセスを実践的に学びます。自ら考え行動に移し、答えを導き出す基礎を養えるのも、叡啓大学ならではの学びです。プラットフォームを構成する企業・団体等は、さらに増えていく予定です。

### 叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会



2024年2月現在

## 課題解決演習(PBL)取り組み事例

テーマ **世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動とは何か**

クライアント:ものづくりラジオチーム様(2023・春夏Q)  
平岡工業株式会社様、株式会社やまだ屋様、株式会社見祐堂様、株式会社マルニ木工様、広島エフエム放送株式会社様

ものづくり企業へのポテンシャルを感じてもらい、ものづくりの盛り上げを演出する「産学民共創型PBLワークショップ」を企画。検証を経て、テーマである世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動を提案しました。



テーマ **「ビジネス(売上)」と「パーパス(社会貢献)」の両立を目指す地域資源循環モデル 「Unite for Smile. UMILE ひろしま」の最大化**

クライアント:ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社様(2023・春夏Q)

広島市在住の子育て世帯が、ユニリーバ製品を知る・使う・使い続けるきっかけを作るためのワークショップを企画。プロトタイプを制作し、「ビジネス」と「パーパス(社会貢献)」の両立について提案しました。



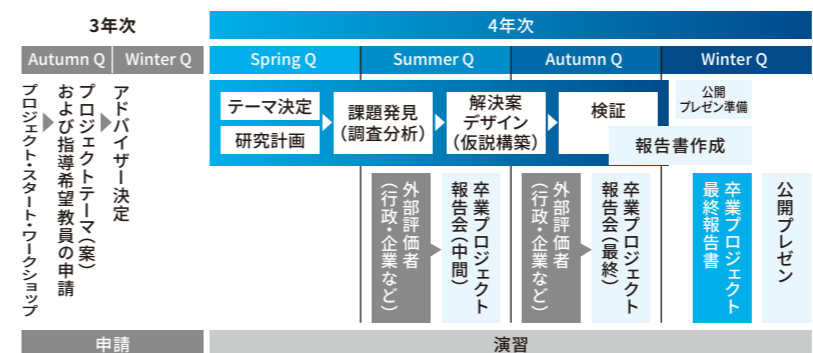
課題解決演習について、詳しくはこちらから >>>



## 卒業プロジェクト

大学での学びの集大成として、学生自らがテーマを設定して、課題の明確化と解決策を導き出すことを目指します。個別の卒業プロジェクトテーマに関する課題研究を、教員が伴走する演習形式で実施。中間・最終の2度行われる報告会には、外部評価者として企業・行政などのステークホルダーを招き、それぞれの課題研究に対して、新規性、実現可能性などの観点からフィードバックをもらいます。それを踏まえて報告書をまとめ、公開プレゼンテーションの場で成果を発表します。

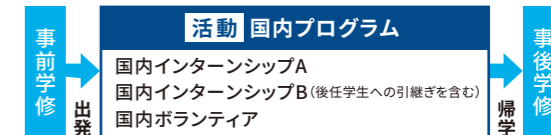
### 卒業プロジェクト(全体概要)



## 体験・実践プログラム(国内) 現場体験を通じて企業や地域への理解を深める

叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会などと連携し、インターンシップやボランティア活動などに取り組むプログラムです。学生は海外で活動することを必須とし、海外プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修では自身が成長させたいスキルの明確化を、実習中は受入先担当者の指導を受けつつ主体的で実践的な学びを、事後学修では受入先担当者からの評価を踏まえた学びの振り返りを行い、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。

### 学修フロー



### 国内プログラム(2年次または3年次)

科目	内容	期間
国内インターンシップA	県内企業、市町や県の行政機関、国際機関などにおける日常業務の一端を担うことにより、積極的に社会への関心を高め、仕事に対する理解を深めます。国内インターンシップBは、学生同士による引継ぎを想定したプログラムです。前任の学生から業務手法や成果を引き継ぎ、発展させ、また後任となる学生に業務の内容を引き継ぐことによって、業務への責任感と理解をより深め、新たな学びや気づきが生み出されることが期待されます。	2週間から数か月程度 ※国内インターンシップBは4週間以上
国内インターンシップB		
国内ボランティア	非営利組織の活動支援を行っている団体の協力を得て、地域おこしや教育、外国人観光客対応などの活動に関わることで、自発的な社会貢献の経験を積みます。	

※インターンシップについては、PBLと同様に、叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会参加団体が主な受入機関となります。

体験・実践プログラムについて、詳しくはこちらから >>>



# 実践英語力

グローバルに活躍できる  
英語力を身につける



## A STUDENT'S VOICE

スキルアップできる環境で  
世界で通用する英語力を修得

ソーシャルシステムデザイン学科 2年  
前田 遥夏 MAEDA Haruka  
広島県(武田高等学校)出身

ネイティブな英語を話すクラスメイトもいる環境で、頭に浮かぶ単語が英語になっていくのを実感。グループワークやプレゼンテーションを通して実践的な英語を学修できている成果でもあり、より英語力を向上させたいという意欲につながっています。これまで「日独学生青年リーダー交流派遣事業」への参加や、学生同士の交流を目的とした留学をしましたが、今後は大学で身につけた英語脳と、ディスカッションできるスキルを高め、世界のどこに行っても通用する英語力を身につけることが目標です。その上で、文化や宗教の違い、様々な国の人との交流を経験して、世界を見たいと考えています。



## 英語のシャワーに触れる日常で「グローバル」な人材に

コミュニケーション力を駆使して異なる文化・価値観などを有する人と協働し、グローバルに活躍できる力を養うため、実践的な英語を学修します。英語で授業を受けられるレベルの英語力の修得を目指すとともに、海外から積極的に留学生を受け入れ、キャンパスのグローバル化を推進しています。

### 英語集中プログラム

6か月



英語で授業を受けられるレベルに達するよう、1年次の最初の半年間で「Intensive English Program(英語集中プログラム)」を実施します。少人数・習熟度別(初級・中級・上級)にクラスを編成し、英語のみを使用することで、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング、プレゼンテーション力を鍛えます。

### 英語での単位修得

62単位以上



卒業に必要な124単位のうち、62単位以上は英語で単位を修得することが要件となります。一部の科目(留学生を対象とした日本語の授業)を除き、同一科目を英語と日本語両方で開講するため、すべての科目を英語により履修し卒業することができます。

### 留学生

4人に1人



1学年100人のうちの20人程度の留学生に加え、交換留学などにより滞りする海外大学の学生を含めると4人に1人は外国人学生となるよう、キャンパスのグローバル化を推進しています。様々な文化的背景や価値観を持つ留学生と日頃から英語でコミュニケーションを取ることで、多様性を尊重する国際感覚を身につけます。

## イノベーションの最先端を体験できるスタンフォード大学SPICEとの連携授業

2023年度から、叡啓大学はスタンフォード大学SPICEと連携して「Social Entrepreneurship」の授業を英語で開講しています。授業では、スタンフォード大学SPICEの専門教員から社会イノベーションについて学びます。具体的には、シリコンバレーで活躍する実務家や教員のケーススタディとグループワークを通じて、社会イノベーションとソーシャル・アントレプレナーシップについて理解を深め、国際的な視野を養います。世界を変える新しいビジネスモデルやアイデアを探究し、それを実現するためのスキルを身につけたいと考えている学生にとって理想的な学修機会を提供します。



### 【スタンフォード大学SPICEとは】

正式名称は「Stanford Program on International and Cross-Cultural Education (SPICE) (日本語では「スタンフォード大学国際相互文化教育プログラム)」で、スタンフォード大学国際研究所FSIの部局。1976年の開設以来、初等教育から高等教育までのカリキュラム開発、教員の専門性開発、遠隔学習コースの開発を行っており、Stanford e-Japan活動をはじめとする日本に向けたプログラムを提供している。

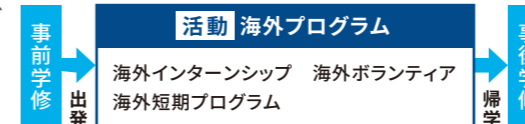
実践英語について、詳しくはこちらから >>>



## 体験・実践プログラム(海外)

### 異文化への関心を高め、多様性を学ぶ

海外協力機関などと連携し、インターンシップやボランティア活動・留学などに取り組むプログラムです。学生は一度は海外で活動することを必須とし、国内プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修、事後学修を組み込んだカリキュラムで、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。



海外プログラム(2年次または3年次)

科目	内容	期間
海外インターンシップ	海外でのインターンシップを紹介している民間団体の協力を得て、企業などでビジネスの実務を経験することにより、異文化への関心を高め、交渉能力、協働する能力を高めます。	2週間から数か月程度
海外ボランティア	海外でのボランティアを紹介している団体の協力を得て、主に開発途上国で活動中のNGOなどにおいて経験します。社会背景の異なる環境下での体験を通して、現地の支援活動に貢献しながら、積極的に異文化への関心を高め、多様性への理解を深めます。	
海外短期プログラム	学外協力機関が提携する大学や、本学の国際交流協定校のプログラムの中から選択し、サマースクールなどの短期プログラムに参加します。	

※5万円/月の奨学金が付与されます。

体験・実践プログラムについて、詳しくはこちらから >>>



## 留学 新たな環境下で自分を磨く

様々な課題を自ら乗り越える経験を積むこと、困難に直面しても最後までやり抜くことを通じて物事を実行する力をつけること、多様な文化や価値観を有する他者と協働する力をつけることを目的としています。留学は本学と国際交流協定を結んだ大学への留学「交換留学」「派遣留学」と、協力機関等を通じて留学先を選ぶ「認定留学」の3通りの留学方法があります。「交換留学」では留学期間中、大学から5万円/月の奨学金が支給されます。(併給禁止等の条件がない場合に限る)

### 留学の種類

	交換留学	派遣留学	認定留学
窓口	本学	本学	協力機関 など
期間	3か月~1年		
留学先の授業料	不要	必要	
その他必要経費	ビザ申請料、渡航費、保険料、生活費(住居費・食費・通信費) など		
単位認定	本学と単位互換可能な科目を履修し、単位認定された場合に単位付与		
出発時期	2年次以降		
行き先	協定校22か国・地域32大学	10か国・地域46大学 など	

※本学における学事暦上3クォーター以上、上記のいずれかの留学をする場合、卒業のために4年を越えての在学が必要となる場合があります。※上記内容は予告なく変更となる場合があります。

### 国際交流協定校一覧

洲	国・地域	協定校	注
欧州	チェコ	メンデル大学ブルノ	(2024年2月現在)
	フィンランド	フィンランド南東部応用科学大学	
		カリヤン応用科学大学	
	イギリス	ノーサンプトン大学	
		ブラッドフォード大学	
	リトアニア	カウナス工科大学	
	フランス	情報先端技術学校 (EPITA)	
		ハイルブロン大学	
	オランダ	ヴィンデスハイム応用科学大学	
	ベルギー	ヴィヴェス応用科学大学	
クロアチア	ドゥブロブニク大学		
北米	スイス	アルゲブラ大学	
	アメリカ	ジュネーブビジネススクール	
		ネブラスカ大学カーニー校	
中南米	セントラルミズーリ大学		
	ヒューストン大学ビクトリア校		
アジア	マレーシア	INTIインターナショナル大学	
	バングラデシュ	ダフォール国際大学	
中東	韓国	忠南大学校	
	台湾	台北市立大学	
アフリカ	タイ	義守大学	
	中国・香港	嶺南大学	
オセアニア	トルコ	マヒドン大学インターナショナルカレッジ	
	モロッコ	スィーパトゥム大学	
オセアニア	アル・アハワイン大学	アルティンバス大学	
	オーストラリア	アル・アハワイン大学	
オセアニア	オーストラリア	アル・アハワイン大学	
	オーストラリア	アル・アハワイン大学	

世界22か国の国や地域の32大学と、国際交流協定を締結しています。

留学について、詳しくはこちらから >>>



# カリキュラム | 「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

		1年次	2年次	3年次	4年次
実践	課題解決演習(PBL)	●課題解決入門	企業などの多様な主体と連携し、実践的な課題発見・解決演習に取り組む ●課題解決演習IA ●課題解決演習IB	●課題解決演習II	卒業プロジェクト
	体験・実践プログラム	学生各自の興味・関心に ■国内プログラム ●国内ボランティア ●国内インターンシップA ●国内インターンシップB ■海外プログラム ●海外ボランティア ●海外インターンシップ ●海外短期プログラム			
基本ツール科目	ICT・データサイエンス	■入門科目 基礎的なICT活用技術やプログラミングのスキルを養う ●ICT入門 ●データサイエンス概論A ●プログラミング入門	■基盤科目 より複雑な課題に対応できるスキルを養う ●ウェブプログラミングとアプリ開発 ●IoT利用による問題解決 ●データ分析と統計モデリング ●データサイエンス実践論 ●情報発信技法 ●データサイエンス概論B ●データ可視化法 ●AIビジネス活用論		
	思考系	■入門科目 課題解決に必要な基本的な思考のスキルを養う ●ロジカルシンキング ●デザイン思考・システム思考	■基盤科目 プロジェクトを進める手法や議論を促進し合意形成を図る方法など、他者と協働して課題解決に取り組む上で必要となるスキルのほか、論理的に文章を構成し表現するスキルを養う ●ファシリテーション ●プロジェクトマネジメント ●日本語アカデミックライティング		
修得	リベラルアーツ科目	■入門科目 人の多様性、社会の仕組み、自然との共存などに関する基礎的理解を養成		■基盤科目 平和な社会の構築や、多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基礎となる知識を修得	
	People 人間	●ソーシャルシステムデザイン入門 学生の課題意識を醸成し、学修意欲を喚起	●入門科目 (選択科目) ●数学入門 ●健康学入門	(人) ●心理学概論 ●宗教と歴史 ●平和論 (社会) ●経営学概論 ●国際協力・安全保障概論 ●社会学概論 (自然) ●生命倫理学概論 ●人工知能概論 ●数学的思考法	■発展科目 縦軸として(人)(社会)(自然)を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる (人) ●哲学・倫理学 ●多文化共生社会論 ●メディア論 ●日本文化論 ●異文化論 ●科学哲学概論 (社会) ●公共経営論 ●地域協働論 (自然) ●認知科学概論 ●ヘルスケアサービス論
	Prosperity 繁栄		●入門科目 (選択科目) ●数学入門 ●健康学入門	(人) ●心理学概論 ●宗教と歴史 ●平和論 (社会) ●経営学概論 ●国際協力・安全保障概論 ●社会学概論 (自然) ●生命倫理学概論 ●人工知能概論 ●数学的思考法	■発展科目 縦軸として(人)(社会)(自然)を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる (人) ●哲学・倫理学 ●多文化共生社会論 ●メディア論 ●日本文化論 ●異文化論 ●科学哲学概論 (社会) ●公共経営論 ●地域協働論 (自然) ●認知科学概論 ●ヘルスケアサービス論
	Planet 地球		●入門科目 (選択科目) ●数学入門 ●健康学入門	(人) ●心理学概論 ●宗教と歴史 ●平和論 (社会) ●経営学概論 ●国際協力・安全保障概論 ●社会学概論 (自然) ●生命倫理学概論 ●人工知能概論 ●数学的思考法	■発展科目 縦軸として(人)(社会)(自然)を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる (人) ●哲学・倫理学 ●多文化共生社会論 ●メディア論 ●日本文化論 ●異文化論 ●科学哲学概論 (社会) ●公共経営論 ●地域協働論 (自然) ●認知科学概論 ●ヘルスケアサービス論
実践英語	●入門科目 IEP(英語集中プログラム) 授業を英語で受けられるレベルの英語力を養う ●リスニング英語I ●リスニング英語II ●ライティング英語I ●ライティング英語II ●リーディング英語I ●リーディング英語II ●スピーキング英語I ●スピーキング英語II ●プレゼンテーション英語基礎I ●プレゼンテーション英語基礎II		■基盤科目 アカデミックな英語力や時事英語など、実践的な英語力を磨く ●アカデミックリーディング ●アカデミックライティング ●カレントイングリッシュ ●プレゼンテーションイングリッシュ ●コミュニカティブイングリッシュ		
日本語(留学生科目)	●日本語I ●日本語II ●日本語III ●日本語IV ●日本語V ●日本語VI				

●持続可能な世界と私たち〜SDGsの達成に向けて〜

3年間の学修成果を踏まえ、学生が自ら解決すべき課題を設定し、原因究明から解決策の提案までを一貫して行います。


**充実した教育プログラムと学修サポート**

**ジャンプスタートワークショップ**  
 学生は入学直後に、およそ1週間かけてジャンプスタートワークショップを受講します。学生が入学までの生活や学修を振り返り、将来のキャリアプランやライフプランについて考える機会とします。また、このワークショップで集中講義として実施する「ソーシャルシステムデザイン入門」や「課題解決入門」で、社会課題に対する当事者意識を醸成します。

**ポート(港)による学生支援**  
 学生40人(1学年10人×4学年)程度を専門分野の異なる教員2~3人が担任する「ポート」を設け、学生を支援しています。教員2人の研究室と学生が滞在する部屋を隣接配置することで、学生が日常的に教員とコミュニケーションをとることができます。学修計画の立て方や履修科目の選択、学修方法についての指導・助言を受けやすい環境です。

**完全クォーター制**  
 1年を4学期に完全に分離するクォーター制を導入。自らの履修計画に応じて海外留学やインターンシップ、ボランティアに取り組みやすくなっています。

カリキュラムについて、詳しくはこちらから >>>



# 教員紹介

## 多彩なキャリアを持つ教員陣

本学には、社会人経験を経て学問の道へ進んだ教員や、専門分野で様々な経験をもつ教員が揃っています。

“変化の激しい時代を生き抜く学び”とは何か。

教員自身の経験や研究を踏まえて学生の皆さんに伝えるだけでなく、共に考え、実践できる場を準備します。



教授 | 英語

**BURROWS Christian**  
バロウズ クリスチャン

The Intensive English Program (IEP) offers students to develop a practical ability in all 4 language skills. This is intended as a platform to be able to take part in lectures and seminars conducted in English. It offers an opportunity for students to build on the knowledge and ability acquired up to high school. If you are motivated to improve your language ability, come and join our student-centered program.



講師 | 経営学

**CHENG Ya-Fang**  
鄭 雅方 (テイ ガホウ)

経営学は金儲けのための学問でしょうか？それだけではありません。経営学を学ぶことで、顧客やステークホルダーに価値を提供し、様々な社会的な課題を解決できます。皆さんと経営学の世界を探索することを楽しみにしています。



准教授 | 社会心理学

**NAKAJIMA Motohiro**  
中島 基宏

どのような時に自分の考えが周囲から影響を受けるのか、またどのような時に自分の言動が周囲にポジティブな影響をもたらすのか、さらに人が人と良好な関係を築く上で大切なことは何か、皆さんとともに議論し学んでいきたいと思ひます。



准教授 | ファイナンス

**ONO Koji**  
小野 浩二

国上級甲種(経済)合格、総理府任官。英国外務省奨学生としてロンドン大学インペリアルカレッジ留学、MSc、DIC両学位取得。政府系法人研究部長、国際会議議長、大学教授、終身保障信託開発者。日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA)。FP1級、英検1級、宅建等有資格。



准教授 | 言語学

**HIGGINBOTHAM George**  
ヒギンボサム ジョージ

The Intensive English Program will push your language skills so that after six months you will be confident to take your Social System Design courses through English. In the reading classes, for example, you will read a lot of easy books (extensive reading) to increase your reading speed and also read academic texts (intensive reading).



特任教授 | 環境経済学

**ISHIKAWA Masanobu**  
石川 雅紀

私は学部3年生から環境問題に取り組み、東京水産大学、神戸大学を経て本学で経済学を担当しています。神戸大学では学生中心のNPOごみじやぱんを創立しました。プラスチックごみ問題、食品ロス問題を学生と一緒に解決したいと思ひます。



教授 | 文学

**PETKOVA Galia**  
ペトコヴァ ガリア

大学時代は、人生で一番楽しい時期です。それをどう活かすかは、すべてあなた次第です。この期間を上手く使えば、確かな知識と自信を得ることが出来ます。特に、批判的に考えることと、人間の行動や社会を分析し理解することを学びましょう。



教授 | 環境化学工学

**SAGEHASHI Masaki**  
下ヶ橋 雅樹

私たちの生活に欠かさない水を主な対象として、気候変動やプラスチック排出の環境影響をコンピュータ上に再現するシミュレーションを研究しています。計算結果を通じて、持続可能な環境のために今何をなすべきかを議論しましょう！



講師 | 健康政策、数理モデル

**KASAJIMA Megumi**  
笠島 めぐみ

人々がより健康に暮らせる持続的な社会づくりに取り組んでいます。健康は、個々の幸福や生活の質を向上させると同時に、社会においても重要な役割を果たしています。健康に配慮した社会システムデザインを共に考えていきましょう。



准教授 | 英語教育学、教育理論

**KASPAREK Nick**  
カスパレック ニック

English has become a vital, diverse, and dynamic global language for communicating and co-constructing ideas across space and time. As such, active English study develops students' capacity to learn from and join global academic conversations. Moreover, with language mediating our experience of our inner and external worlds, new potentialities for thought, action, and learning can emerge for oneself and others.



教授 | プロジェクトマネジメント

**SADAKANE Motoi**  
定金 基

変化し続けるプロジェクトの目的をチームみんなで達成する。学修した内容をプロジェクトの実践のために活用し、そのパワーをさらに実感する。プロジェクトで一人ひとりが自分の個性を最大限に発揮できる環境を提供します。



准教授 | 国際協力、ジェンダー

**SEKO Motoko**  
瀬古 素子

2050年の地球では人口の25%がアフリカ大陸に居り、消費も労働力も社会課題も、世界の中心が動いていきます。若者よ、井戸を出て大海を見よう。世界を知りともに歩むための教養と経験に加え、多文化共生な生き方を観啓で身につけましょう。



教授 | 調査デザイン

**KAWASE Maki**  
川瀬 真紀

担当科目「課題解決演習」では、連携先からの課題についてフィールド調査を進め、解決の糸口を考えます。学生の皆さんが課題に真摯に向き合う態度を育て合いながら、総合的な実践力を身につけ、成長される様子に励まされています。



教授 | データサイエンス、エネルギーマネジメント

**KAWAMURA Tsutomu**  
河村 勉

データサイエンスやAIなどのデジタル技術に関する講義を行っています。また、地球温暖化対策として、AIを用いて工場やビル、住宅などのエネルギーシステム(蓄電池やヒートポンプなど)の運用効率を高める技術の研究に取り組んでいます。



教授 | 地域活性化、経営学

**SODA Yoshinobu**  
早田 吉伸

環境変化が激しく、大きな価値転換が起きている現在は、皆さんにとって大きなチャンスです。それを活かすためには「ソーシャルシステムデザイン」の考え方を修得し、実践することが有効です。ぜひ一緒に未来をデザインしていきましょう！



准教授 | 文化人類学

**TAGUCHI Yoko**  
田口 陽子

私たちが当たり前だと思っていることは、文化が違えば大きく異なります。違うあり方が可能なら、変えられないようにみえることでも少しずつ変えられるかもしれません。大学では、人間の可能性を探り、新しいアイデアを試してみましよう。



准教授 | 社会学

**KAYUKAWA Junji**  
粥川 準二

私が専門とする社会学は、社会の変化を捉えつつ、社会問題に取り組むための学問です。パンデミックは終わっても社会問題は終わっていません。「アフター・コロナ」時代の社会問題に取り組むチカラを、観啓大学とともに育みましょう！



教授 | 自然科学

**LASSALLE Michael Wolfgang**  
ラサール ミハヤエル ウルフガング

Our world is undergoing rapid change, with big issues facing us now and in the future. The global temperature is increasing, while biodiversity is decreasing, unknown diseases are emerging, and wars are being fought again. How can you become a problem-solver? Having a background in science and technology will provide you with the creative knowledge to overcome the economic, social, and environmental challenges of the future. Join me on this journey and see how rewarding, fun, and engaging natural science can be.



准教授 | 情報通信技術

**TSUCHIMOTO Yasuo**  
土本 康生

生成AIの登場により、道具としてのコンピュータの使い道が広がりました。実現したいことを自らの力で実現できる可能性が高まったと言えます。そんな時代に求められるのは行動力。まずは挑戦、自分が目指す世界を作る一歩を踏み出そう！



教授 | 英米文学、英語教育、異文化理解

**UESUGI Yuko**  
上杉 裕子

「別の言語を話すことは別の人生を生きること」ということわざがあります。英語というもうひとつの言語を学ぶことは世界への扉を開くことです。異文化間コミュニケーションの手段としての英語力を磨き、未来の世界に羽ばたきましょう！



講師 | バイオデザイン、情報工学

**MATSUURA Yasuyuki**  
松浦 康之

現場に入り込み様々な視点から調査し本質を理解し、解決すべき事を定義することが、社会問題を解決するイノベーション創出の第一歩です。その方法を学び、実践を通じて、難しさを楽しさを実感して、これからは活かしましょう。



准教授 | 科学技術社会論

**MIZUSHIMA Nozomi**  
水島 希

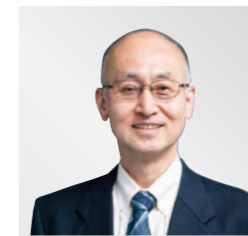
現代の私たちの生活には、科学技術が深く浸透しています。科学や技術は日常生活だけでなく、人生観・生命観そのものにも影響を与えています。社会における科学技術のあり方について、みなさんと一緒に議論できることを楽しみにしています。



准教授 | 哲学・倫理学

**WATANABE Kazunori**  
渡辺 和典

情報が加速度的に更新される時代において、事柄の根底、前提、可能性について自らの力で批判的に思考する能力、そして徹底して考え抜く思考の持久力を、哲学をベースに身につけてほしいと思ひています。



教授 | 気象学、環境学、データサイエンス

**YAMADA Yoshinori**  
山田 芳則

地球環境論と自然災害論、データサイエンスの講義を担当しています。地球科学の基礎を学ぶことは地球環境問題等を理解する上で非常に重要です。膨大なデータから有益な情報を引き出すデータサイエンスの活用範囲は拡大していくでしょう。



教授 | データサイエンス

**MORI Toshiki**  
森 俊樹

我々の身のまわりはデータや情報であふれており、インターネット等の普及とその傾向はさらに加速しています。データサイエンスやAI (Artificial Intelligence) の知識やスキルを身につけて、よりよい世界と一緒に実現しましょう。



准教授 | 国際法

**NAGAOKA Sakura**  
長岡 さくら

我々が思っている以上に、法は我々の生活を保護しています。そして、現在では多様性を尊重し、他者と協働することが求められています。観啓大学にて、「法」という素材を用いて、新たな課題を発見し、その解決に取り組んでみませんか？



准教授 | 安全保障論、平和論

**YASUTOMI Atsushi**  
安富 淳

世界に平和な社会をつくるにはどうすればよいのか—私たちの先輩たちは、この難題に取り組んできました。平和とはなにか、戦争や紛争はなぜ起こるのか、どのように予防や解決できるのか、一緒に議論しながら考えていきましょう。

教員について、詳しくはこちらから >>>





## My Vision

# 視野を広げ 本質を見極め 課題解決の先の 価値を創造

ソーシャルシステムデザイン学科 4年

長谷川 未羽

HASEGAWA MiU

広島県(広島県立高陽高等学校)出身

## 繰り返し行う実践で 課題の本質を導き出す

得意な英語のスキルを高めたい、興味のある地球環境について学びたいと思っていた高校時代。ただ、どちらにしても〇〇学部という枠にはまるのはもったいないと感じていた私に、ソーシャルシステムデザインという学びはとても魅力的でした。特に幅広い分野の企業からリアルな悩みを聞くことができる課題解決演習(PBL)では、それまでの固定観念が払拭される経験が連続します。(株)エイチ・アイ・エス様のフィールドワークでは、



店舗に足を運び、観察や聞き取り調査をふまえて実店舗の価値を考察しました。課題の洗い出しから重要なレバレッジポイントを導き出しました。大学のカリキュラムにはこのような演習が多く生まれ、実際に企業の方とのディスカッションも体験できます。様々な手法を駆使しながらトライアンドエラーを



繰り返す工程は、スキルを上げるだけでなく、どこか不透明だった働くことへのイメージを鮮明にしてくれ、「能動的に動くことで社会を創れるんだ」というモチベーションの持ち方にもつながりました。関心のあった地球環境についても、地域活性や開発経済などとの関係性を知り、今では違う見方から考え理解が深まりました。広がった視野と本質を見極める力、様々な意見に耳を傾ける傾聴力は、叡啓大学だからこそ得られる学びだと思っています。

## 学べることは無限大 大きく成長した海外プログラム

2年次の夏に体験・実践プログラムで、タイにあるNGO団体・WFFTでのボランティア活動に参加しました。海外渡航、ボランティア、英語だけの生活、すべてが初体験で戸惑う

## 挑戦を恐れず、一歩踏み出した先にある 喜びや充実が将来の自分像を創っていく

私は叡啓大学に入って物事に対する姿勢が大きく変化しました。一番は“やらず嫌い”にならない度胸がついたと思っています。実業家である高橋優さんの言葉にもあるように、「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分」。これからも世界の中の多くを自分の目と肌で感じ、そこから自分に合う職業、分野、本当にやりたいことを見極める挑戦を続けたいです。

ことはありましたが、PBLで身に付けた実践力と、積極的に話を聞くマインドをさらに養える良い機会になりました。様々な国から



集まった同世代の参加者から、多様な文化を一気に吸収できた刺激的な3週間でもありました。叡啓大学では、国内と海外で一回ずつ体験・実践プログラムに取り組みます。必修であるからこそ挑戦に一歩踏み出せることができ、特に海外プログラムでは、自身を大きく成長させる素晴らしい機会だと思っています。

## Our Challenges

# オリジナリティと 価値を創造し 学びの場を 自ら開拓する

叡啓大学では、学生が主体的に地域や企業の方と交流し、イベントやプロジェクトを企画、運営・実施する活動を支援しています。自分たちができること、そこから創造する未来まで、チャレンジする精神を応援しています。

## 私たちが企画したのは 「オール広島学生ラジオ」

ソーシャルシステムデザイン学科 2年

菅田 悠生

SUGETA Yu

広島県(広島県立海田高等学校)出身



ソーシャルシステムデザイン学科 3年

川原 壮太

KAWAHARA Sota

広島県(福山市立福山高等学校)出身

## ラジオを通して発信する 現役大学生、そして広島の魅力

現在の2人の活動は

川原 11月にオープンした学生食堂を盛り上げたいと考え、「EUH Students Radio!」を立ち上げ、平日の昼時間に15分番組を放送しています。



菅田 様々なプロジェクトへの挑戦や、学内で有名な学生のインタビュー番組で、企画からDJまで2人でを行っています。

川原 「オール広島学生ラジオ」は私がずっと考えていた企画で、広島県内にある22の大学全体のラジオ番組を制作することを目標にしています。でも、実は裏テーマがあり、企業への取材やインタビューを増やすことで、転出超過が全国最多の広島県の学生に、こんなに素敵な働く場所があるといった魅力を発信したいと考えています。逆に企業からも、ユニークな学生の発掘の場にもしてもらうなど、双方向でつながることに期待しています。

## 想いを社会に届ける まさに継続は力なり

ラジオを通して学んだことは

菅田 私は中学生の頃からDJやラジオに興味を持ち、高校では校内放送を立ち上げました。ラジオの魅力は、顔は見えないけど親近感があり、声色や話し方に情報を乗せて伝えられる“声の力”にあります。叡啓大学を選んだ理由も、チャレンジを前向きに後押ししてくれる環境があると知ったから。今、大好きなラジオを通してたくさんの縁をいただいています。



川原 活動の幅は叡啓大学だからこそ広がっていると思います。そのひとつに、PBLの授業で課題提供にいられたことがきっかけで、

広島エフエム放送(株)様(HFM)と出会うことができました。

菅田 「オール広島学生ラジオ」に興味を持っていただき、月一回ですが、HFMの番組として放送がスタートすることになりました。大学のサポートはもちろん、自分たちの活動が社会で認められ、とても自信になりました。

川原 以前、せとうちビジネスコンテストに「オール広島学生ラジオ」を応募したことがあります。その際、審査員を務めておられた方のFMラジオ番組にゲストで呼んでいただきました。企画を評価されたことはもちろん、活動を継続すれば声は届くんだということを実感できた素晴らしい経験でした。

## 本気で取り組むこと 活動に自信を持つこと

これからの夢や目標を聞かせてください

菅田 大きな夢は、いつか英語でラジオ放送を行い、国境を越えてたくさんの人とコミュニケーションをとることです。私にとって本気で取り組みたいことがラジオで、それを受け止めてくれたのが叡啓大学でした。夢を叶えるためのヒントが詰まった環境で、これからも発信すること、行動を起こすことを大切に、自分の声(想い)を届けていきたいです。

川原 まずは「オール広島学生ラジオ」の目標を実現すること。そして、ラジオ活動を通して学んだように、小さくてもいいから何かを変える立場にたつて社会貢献につなげること。悩みは尽きませんが、過去から学び、柔軟に変化の波に乗り、自信をもって次のステージを目指すことで見えてくる未来を創りたいと思っています。



# My Vision

## 多角的な視野 疑問を持つ力 学びはすべて 夢につながる

ソーシャルシステムデザイン学科 4年

間庭 翔太郎

MANIWA Shotarou

岡山県(岡山学芸館高等学校)出身



### やりたいことに気づけた リベラルアーツという学び

放送映像部に所属し、取材活動を通して地域貢献への関心を高めた高校時代。NHK主催の全国高校放送コンテストなどに作品を応募しながら、メディアが持つ発信力を体験として感じてきました。同時に、貿易やエネルギー問題にも興味があった私が叡啓大学を選んだ理由は、ひとつの枠にとらわれない様々な分野について学べるリベラルアーツがあったからです。実際、私の地元の岡山県津山市や中国地方山間部で起きて



いる事象には、複雑な問題が絡み合っていました。過疎化が進む地域を活性化するには、例えば観光だけに力を入れても解決しません。森を整備するための生態学、水質改善の技術、外国人を誘致する国際的なマインドなど必要です。田舎暮らしの推進を考えるなら

ICTの導入も検討されるでしょう。このように物事を多角的に捉え、俯瞰する能力をリベラルアーツでは養うことができます。さらに、ソーシャルシステムデザインで学修する思考力が、実践への足がかりとなります。個人的には、物事には様々な側面があり、「良し」とされている日常に疑問を持つという姿勢を身につけました。幅広い分野のカリキュラムで知識が蓄積されるなかで、やはりメディアに携わりたくと再確認できたことも、私にとっては大きな収穫です。

### 実体験を大切に活動し キャリアを思い描く

大学では2年次に「叡啓記者倶楽部」を立ち上げました。学内で何となく耳に入ってくる情報をたくさんの人と共有したい、素晴らしい活動を届けたいという動機から、月に1回の

### 大学でアップグレードした行動意欲をかきたてるメディアの心

将来は中国地方に密着した新聞記者か報道カメラマンになりたいと考えています。魅力的な活動をしている人、活動を伝えられず埋もれてしまっている人、困りごとを誰に伝えたらいいかわからない人、そもそも伝える手段のない人など、自らの足で探し、小さな声に耳を傾け、世の中に発信して地域活性に貢献することが夢です。

ペースで新聞を発行しています。インターンシップでは(株)中国新聞社の一日仕事体験に参加しました。模擬記者会見を行い、実際に



記事を書いて校閲してもらったり、見出し作成のワークショップがあったりと、実践的で実りある時間でした。実はアルバイトでも(株)中国新聞社に行っているのですが、それも含めて情報を発信する現場で多くの活動を体験できたことは、メディアについての考えや情報発信への自覚の醸成につながり、自分の大学生活を大きく変えました。

## 多様なキャリアデザインをサポート

4年間を通じて「社会・企業」とつながり、キャリアに向き合う教育プログラムで、多様なキャリアデザインを描く学生たちをサポートします。

### キャリアデザインオフィス

キャリアデザインオフィスをハブステーションとして、キャリアメンター、叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会、起業家育成コミュニティなどの関係団体とネットワークを構築し、学生の活動や多様なキャリアデザインをサポートしています。また、専属のキャリアアドバイザーによる

キャリア相談を随時受け付け、キャリアに関する図書等の閲覧や学生が職員やキャリアメンターと談話するオープンスペース、企業とのオンライン面談用のプライベートブースを整えています。



### ◎卒業後のイメージ

- ① 社会課題を起点に新たな事業戦略を描く企業や公共セクター、グローバルに展開する企業、国際機関、国際NGOの戦略推進、事業部門等で、入社早々に新規事業のプロポーザルが提出できるなどの活躍
- ② 起業し、新しいシステムやサービスをグローバルとローカルで展開

### コーチング

「誰一人取り残さない」をモットーに、コーチングスキルを用いて自己との対話を促す支援として、全学生へのコーチングを実施しています。コーチングスキルをもつコーチが学生一人ひとりに寄り添い、現状と将来やりたいことのギャップを可視化し、道筋をつけることを気付かせるために取り組んでいます。

### キャリアメンター制度

卒業後のキャリアパスの実現に向けて、多様な社会人の方々(キャリアメンター)から、いつでもキャリア設計に関するアドバイスを受けることができます。30名を超えるキャリアメンターは、それぞれアントレプレナーシップを発揮し活躍される方、ローカル、グローバル、そしてグローバルに活躍されている方などに協力いただいています。

### イブニングラウンジ

社会の第一線で活躍している方々と学生が自由に意見交換できる場として、イブニングラウンジを設定し、学生のキャリア形成を支援します。



### 客員教授



客員教授  
ビール アリソン  
BEALE Alison

プロフィール  
英国出身。オックスフォード大学日本事務所代表。国際文化交流分野でキャリアを積む。教育、文化機関で非常勤の委員、理事等。

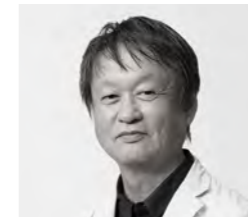
今の世界はものすごい速さで変化しており、私たちが直面する様々な世界的課題を解決するためには創造力と情熱をもって考えることが求められます。これからより良い、より豊かな、そしてより平和な社会をつくっていくために、学生の皆様には大学生活を大いに楽しみながらグローバルシティズンとしてのスキルを大学で磨いていただきたいと思います。



客員教授  
藤野 英人  
FUJINO Hideto

プロフィール  
1966年富山県生まれ。国内・外資大手投資運用会社でファンドマネージャーを歴任後2003年レオス・キャピタルワークス創業。

これからの社会は、既存の価値観にとらわれず楽しんで新しい挑戦をする人たちが創ります。わたしたちと一緒に、しがらみのない組織で未来の価値をワクワクしながらつくっていきましょう。それが個人のしあわせにもつながるのです。



客員教授  
深澤 直人  
FUKASAWA Naoto

プロフィール  
電子精密機器からモビリティ、家具、建築など、世界で70社以上のメジャーブランドのデザインを手掛ける。多摩美術大学副学長、日本民藝館館長。

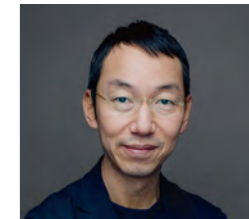
今後の教育の世界は一箇所に集まると同じ時間で学ぶのかといったような拘りはなくなり、さらに自分の趣味の対象を自由に学べる環境が整うに違いない。大切なのは、その教育によってどのように創発が生み出されるかだと思ふ。創造と創造が組み合わさって、予測もしない創造物が生まれるという時代に私たちは生きている。Let's make emergence(創発を起こそう)



客員教授  
前野 隆司  
MAENO Takashi

プロフィール  
武蔵野大学ウェルビーイング学部長・教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。博士(工学)。

木を見て森も見るシステムデザイン・マネジメント学や幸せな社会を目指すウェルビーイング学の研究・教育を行っています。幸せな人は、生産性が高く、欠勤率が低く、ミスが少なく、健康・長寿であることが知られています。また、やりがいのあることを見つけ、多様で深い人間関係を構築している人は幸せです。幸せな学生生活と幸せな人生を歩んでください!



客員教授  
山口 周  
YAMAGUCHI Shu

プロフィール  
独立研究者、作家、パブリックスピーカー。株式会社中川政七商店社外取締役、株式会社モバイルファクトリー社外取締役。

これまで優秀な人材の条件とされた「正解を出せる力」の価値が下がっています。これからは「良い問題」を生み出せる人こそが求められていくでしょう。皆様にはぜひ「良い問題」を生み出す力を身につけてもらいたいと願っています。

在学生の活躍を  
ご紹介・随時更新中!



在学生の  
活躍・学生表彰は  
こちらから



在学生の声は  
こちらから



キャリアサポートについて、詳しくはこちらから >>>



# ENVIRONMENT 周辺環境

## まち全体がキャンパス

本学のキャンパスは15階建ての建物です。  
JR広島駅から徒歩約10分と通学における利便性が高く、市街地にありながら、静かで教育・研究に適した立地環境にあります。アクセスが良く、企業など多様な主体と連携しやすいため、質の高い学修プログラムを提供することができます。

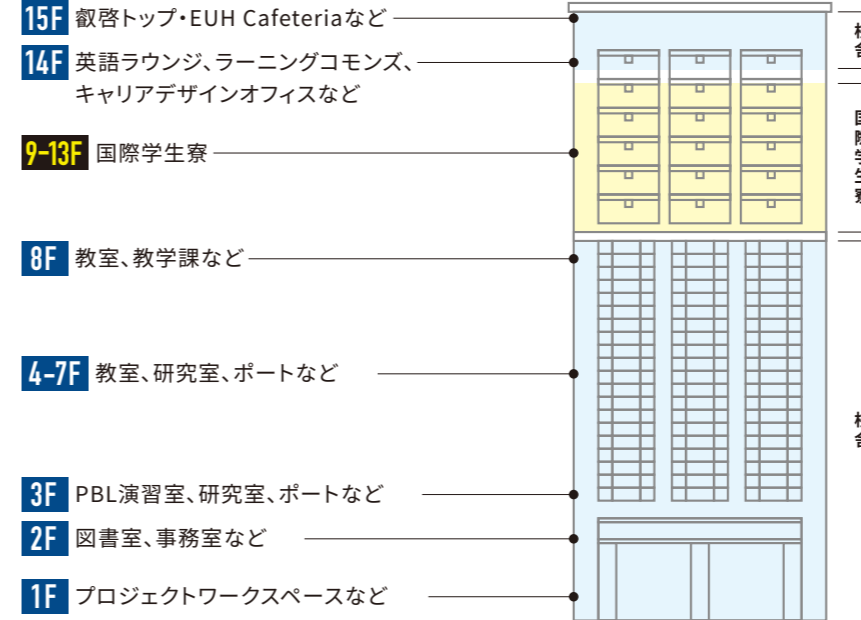


- 広島県内13の美術館・博物館および広島交響楽団のキャンパスメンバーズ制度に加入しているため、学生証を提示することで特典を受けられます。
- 県立広島大学広島キャンパスの図書館や体育館などの施設を利用できます。

周辺環境について  
詳しくはこちらから

# FACILITY 施設紹介

## 叡啓大学校舎フロア図



## 1F プロジェクトワークスペース



叡啓大学の「顔」ともいべき空間。「新たな社会価値を創造する共創の(場)」をコンセプトとし、新しいものを生み出す創造力を刺激する空間として「ソーシャルシステムデザイン」の一端を体現しています。セミナーやワークショップをはじめとするイベントなどを開催できる「セミナーエリア」、企業や自治体関係者など、学生と地域の多様な主体との交流を図るための「コミュニケーションエリア」などを設けています。

## 1F コミュニティcommons



学生と地域の方との交流の場として、広く開放しています。1期生が「EIKEI PIANO PROJECT」としてストリートピアノを設置したり、学生が企画したイベントを開催したりするなど、子どもから大人まで地域の多様な方々と交流を進める取り組みも行われています。

## 15F 叡啓トップ



窓から広島街の様子を一望できる広々とした空間です。一人で自習したり友人と語らう場所として最適です。天気の良い日は瀬戸内の島々が見えます。

## 15F EUH Cafeteria



2023年11月にオープンした学生食堂。一般のメニューの他、多国籍の学生にも対応したメニューを提供しています。

## 14F 英語ラウンジ



英語のみを使用するスペースです。英語ニュースが常時流れ、海外の書籍やDVDがたくさん置いてあります。ネイティブの英語の先生たちが曜日や時間によって滞在し、授業以外の時間でも英語に触れることができます。

## 3-8F 教室



可動式の机やイス、ホワイトボードを備え、アクティブに学修できる環境になっています。

## 9-13F 徒歩0分の国際学生寮

学びと生活が一体化した国際学生寮は、留学生と日本人学生が共同生活を通じて、国際感覚を磨くことができます。管理人は配置されず、各フロアの学生レジデント・アシスタント(RA)、スチューデント・アシスタント(SA)が中心となり、大学教職員とも連携しながら、入居者の寮生活をサポートします。自らが寮生活の改善や向上に積極的に取り組み、国際学生寮を発展させていきます。



## レジデント・アシスタント(RA)

各フロアに1名ずつ配置され、担当フロアを管理し、教職員との定期的な連携や寮生間の交流活動を行います。2LDKユニットに1人で居住しますが、ユニットスペースの一部は、他の寮生との交流活動の場として共有してもらいます。

## スチューデント・アシスタント(SA)

寮生のみなさんが順番に役割を担う持ち回り制で、5名前後の担当グループの状況を確認し、グループの寮生が快適な生活を送れるように支援します。また、RAを補佐してフロアの交流活動も行います。

**入寮対象** 叡啓大学の学生  
※留学生および交換留学生を優先します。  
**在寮期間** 最長2年間

部屋タイプ (個室面積)	個室		ルームシェア		RA 2LDK 洋室・和室 (12.1~12.5㎡)
	1R (23.55㎡)	2LDK 洋室・和室 (12.1~12.5㎡)	3LDK 個室Aタイプ洋室 (18.2㎡) 個室Bタイプ洋室・和室 (12.1~12.6㎡)		
戸数	74戸	5戸	5戸		5戸
入居者数/戸	1名	2名	3名		1名
寮費(月額)シェアタイプは 1名当たりの料金	46,000円	32,500円	37,000円	32,500円	46,000円
共益費(月額)	1,000円(共有フロア電気代、Wi-Fi使用料)				

※その他、光熱費(実費)などが必要です。

施設について、詳しくはこちらから



# LIFE STYLE 生活

## 寮生活

留学生のためのドアはいつでも開いている  
大学のサポートのおかげで世界が広がりました  
ドアンティ チャンヌウン DOAN THI TRANG Nhung 2年



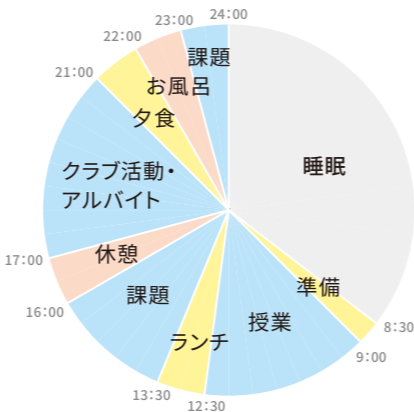
ベトナムから留学し、寮の3人部屋で生活しています。ルームメイトがいるおかげでコミュニケーション力がアップし、料理の腕も上がりました。普段は毎日朝8時半に起きて9時からの授業に向かいます。午後の授業が終わるとクラブ活動に参加したりアルバイトに行き、いつも寝るのは午前0時。スケジュールは常に詰まっていますが、

時間があれば自分の部屋でアニメを見たり、ゲームをしたり、趣味のK-POP音楽に合わせて歌ったり踊ったりしてリラックスしています。寮には様々な国・地域から来た留学生がいるので語学力の向上にも良い環境です。サポートしてくれる大学にもとても感謝していて、安心して大学生活を送ることができています。

### ■寮生の1か月支出平均

●家賃	32,500円
●光熱費	7,500円
●食費	30,000円
●通信費	3,000円
●保険費	7,000円
●その他雑費	10,000円
合計	90,000円

### ■DOANさんのある1日

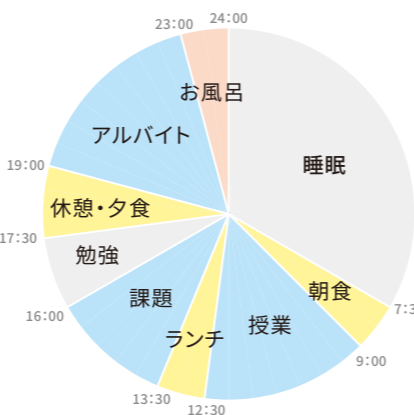


叡啓大学に入学し、地球上の様々な場所から来た人々と出会いました。自分で将来を選択するためにいろいろなことにチャレンジしたいという人には、この大学と寮はおすすめです。

### ■一人暮らしの1か月支出平均

●家賃	60,000円
●光熱費	5,500円
●食費	10,000円
●通信費	3,000円
●その他雑費	12,000円
合計	90,500円

### ■宮本さんのある1日



休みの日でも早寝早起きを意識。今までになかった自分の興味を発見したり、大学では留学生から生きた英語を吸収でき、充実した大学生活を送っています。

叡啓大生のライフスタイルについて、詳しくはこちらから >>>



## クラブ活動 20以上のクラブが活動しています。



**Eikei Dance Club / 叡啓ダンス部**  
叡啓ダンス部は、大学が開学した年からスタートしたクラブで、初心者も楽しく活動しています。様々なジャンルをカバー、振り付けしています。



**Korea club Day by day / 韓国サークル “하루 하루”**  
韓国語を修得したり、韓国料理を作ったり、伝統を学んだりしながら、楽しく活動しています。



**S'more (スモア)**  
叡啓学生が、それぞれの活動を互いに応援、サポートし合い、人のつながりから、価値ある場と機会の創出をめざすコミュニティです。



**Eikei SUP**  
広島市内の原爆ドーム前や新サッカースタジアム隣の河川でSUPをしています。外国人観光客向けのSUPガイドも行っています。



**Eikei Photography Club / 叡啓写真部**  
知識や技術を共有するだけでなく、お互いに刺激し合い、写真の楽しさや面白さを感じながら活動しています。

### ■叡啓記者倶楽部

大学内で活動するクラブや個人の情報発信を通じて、より多くの人々に学生の活動を知ってもらうことを目的としています。大学と地域とをより密接にし、地域社会に貢献することを目指しています。

### ■Hamo.nature

歌や自然と関わる活動を通し、非日常的な「楽しい!ワクワクする!」事を思い出すと共に、人との横のつながりを生むための活動を行っています。

### ■叡啓格闘技クラブFSC

クラブ活動を通じて、心身の向上や海外での活動を見据えて、護身術など自分で自分を守るようにすることを目的として活動しています。

### ■ここのはproject

言葉と音楽を介して、自分自身のアイデンティティをありのままの形で認められるようになるきっかけを創出し、言葉や音楽を創作するという体験そのものを芸術活動と捉え、双方向的な芸術の在り方を模索しています。

### ■文化交流クラブ

本学で日本の文化を体験する機会を通して、多くの学生に文化体験をする機会を提供するために活動しています。

## 学生祭実行委員会

EUH Student Festival Executive Committee

4学年がそろった学生祭を、参加者の皆さんに楽しんでいただけるように準備しています。最高の学生祭を創り上げるために、皆さんの参加が不可欠です!ご参加をお待ちしています!

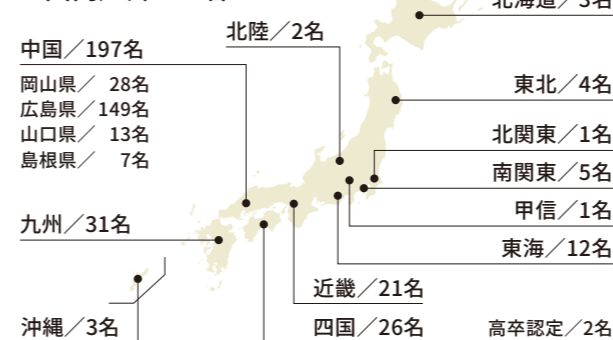


クラブ活動について、詳しくはこちらから >>>

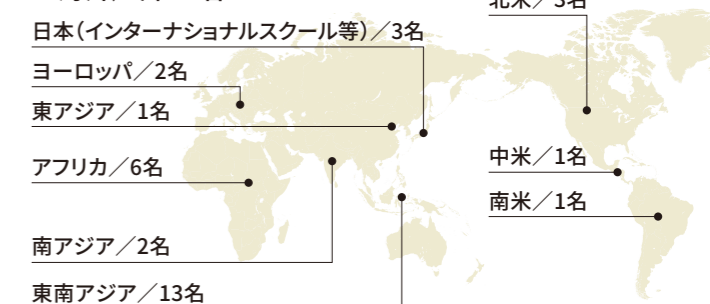


## 叡啓大生の出身高等学校所在地

### ■国内 / 計308名



### ■海外 / 計32名



※2024年4月1日現在の在籍者

## 一人暮らし

一人だからこそ生活リズムや健康を意識  
自立した実感をかみしめながら叡啓ライフを満喫  
宮本 大資 MIYAMOTO Daisuke 3年

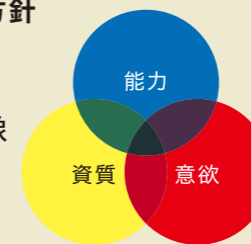


一人暮らしを始めて変わったことは、生活リズムや、食生活に気をつけるようになったこと。特に食事は、しっかり栄養を摂るよう心がけています。難しかったことはお金の管理で、自炊の材料は余らないよう工夫して購入するなど無駄遣いがなくなりました。一方で、本格的な料理を作ってみるといった新しい挑戦や、読書に没頭する時

間が増えるなど、自分時間を満喫しています。学校での楽しい時間は、友人とランチを食べたり、夜ご飯の予定を決めたり、授業後にはその内容を話し合ったりすること。一人でいる時間がどうしても多くなりがちな生活ですが、大学やアルバイトでの交流、散歩で気分転換をするなど、メリハリをつけながら快適に過ごしています。

## アドミッション・ポリシー 入学者受入れの方針

### 求める学生像



次のような資質・能力・意欲を持った学生を広く国内外から受け入れます。

- 基本的な学力
- 幅広い視野
- 国内外の様々な文化、歴史、社会や国際関係への強い関心と探究心
- 学ぶ意欲
- 自らの能力の向上を目指す意欲
- 社会貢献意欲
- 将来を見据え、目的意識をもって学修に取り組もうとする姿勢
- 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢
- 自ら先頭に立ち、他社を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢

### 入試情報 [令和7(2025)年度入学者選抜]

入試区分	一般選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜	留学生選抜
定員	10人	20人	50人	20人

### 学費など [令和6(2024)年度]

区分	広島県内出身者	広島県外出身者
入学科(入学時負担)	282,000円	394,800円
授業料の年額	535,800円	

※その他、体験・実践プログラム参加費、留学費用などが別途必要です。

### 奨学金・授業料減免制度

制度	対象	内容
国の高等教育の修学支援新制度	日本人学生	授業料・入学科減免および給付型奨学金
日本学生支援機構貸与奨学金	日本人学生	第一種奨学金貸与(無利子) 第二種奨学金貸与(有利子)
大学独自の授業料減免制度	外国人学生	授業料半額減免
	日本人学生 (国の就学支援制度対象外の学生)	授業料の全額、半額または1/4減免

※今後、変更が生じる可能性があります。いずれも採用にあたっては、家計基準、成績基準などを満たす必要があります。

入学者選抜に関するお問合わせ

教学課入試係  
TEL.082-225-6224  
E-mail:admissions@eikei.ac.jp

入試について  
詳しくはこちらから >>>

